

「業務継続計画(BCP)及び非常災害対策計画における他施策も含めた地域連携に関する調査研究事業」 事業実施結果(概要版)

事業目的

- 地域において、発災時・発災後も福祉サービスを継続的に提供できる体制を構築するため、高齢者施設・事業所と地域の各関係者・関係機関が「災害時を想定した計画的な面的連携体制(地域BCP)」のあり方を探る。
- 現行の地域包括ケアシステムに、多職種連携による災害時の高齢者支援の仕組みや取組の推進を要素を盛り込む地域連携のあり方の整理・提案の実施。

調査結果

アンケート調査結果まとめ



対象

- 高齢者施設・事業所(n=2,942)
- 自治体(n=655)

まとめ

- 高齢者施設・事業所の災害対応力の実態
 - 施設・事業所のBCP策定率と災害対策の状況が乖離
 - 行政によるBCP支援に課題
 - 応援を要請する外部機関との災害時の対応についての協議状況に課題 等
- 高齢者施設・事業所の地域連携の体制・仕組みづくりに向けた取組実態
 - 福祉避難所の整備状況
 - 施設・事業所種別による福祉避難所指定・協定締結状況に差異
 - 施設・事業所と行政間で福祉避難所の課題に対する認識に乖離
 - 協議の場の整備状況
 - 災害をテーマとした地域ケア会議や協議体への参加率に課題
 - 多職種連携による災害時支援の取組状況
 - 地域支援事業のうち、①総合相談支援事業、②在宅医療・介護連携推進事業、③包括的・継続的ケアマネジメント事業(地域ケア会議)、④生活支援体制整備事業(協議体)において、災害時の高齢者支援の取組と親和性が高い
 - 災害時の高齢者支援の取組と福祉関連計画とのつながり
 - 介護保険事業計画、高齢者保健福祉計画、地域福祉計画などの各種福祉関連計画への災害時の高齢者支援の取組に関する記載状況に課題 等

ヒアリング調査結果まとめ



対象

- 8事例(16団体)

まとめ

- 体制整備におけるポイントと課題
 - ポイント
 - 中間支援機関の集約による連携の効率化
 - 既存の制度・ネットワーク・協議体を基盤にした取組推進 等
 - 課題
 - ボトム・アップ型による意思統一の困難
 - 地域関係者の高齢化 等
- 計画的な面的連携体制による災害対策のポイントと課題
 - ポイント
 - 地域連携を活用することによる行政ニーズの充足
 - 福祉関連計画への位置づけによる継続性の確保
 - 地域包括ケアシステムの災害時への変換機能、地区防災計画の活用
 - 高齢者施設・事業所の災害時地域福祉拠点化 等
 - 課題
 - 地域BCPの概念の周知・理解に課題
 - 共通のテーマ設定の難しさ
 - 参画主体の拡大に伴う予算確保の困難 等
- 高齢者施設・事業所が地域連携を構築する上でのポイントと課題
 - 職員の専門を生かした地域貢献
 - 福祉避難所を想定した在宅サービス事業者との情報共有
 - BCM訓練のモデルの提示 等

総括

1. 高齢者施設・事業所のBCP機能強化に向けた地域連携の重要性

(1)外部機関との連携促進によるBCPの機能強化 (2)福祉拠点としての機能強化 (3)認識の乖離解消を図るリスクコミュニケーションの促進

2. 地域における多職種による計画的な面的連携体制(地域BCP)の構築に向けて

(1)地域包括ケアの制度的基盤を活用した災害時の高齢者支援の取組推進 (2)高齢者施設・事業所の参画可能性の検討

3. 今後に向けた示唆

(1)中長期を見据えた「事業継続計画」の策定 (2)計画的な面的連携体制の具体的な必要項目の整理

(3)BCMIに向けた施策検討 (4)福祉計画への具体的記載に向けたガイドラインの提示・福祉避難所整備の支援メニューの拡大